

学び合い 育ち合い 自立と社会参加の力を身につける学校



# 学校だより

## 学び合い 育ち合い 自立と社会参加の力を身につける学校

昭和56年「完全参加と平等」をテーマとした「国際障害者年」に開校した本校は本年度45年目という節目を迎えます。この間、障害のある子どもたちを取り巻く環境や地域社会の状況は大きく変化してきました。その中で本校は、自立と社会参加を目指した教育活動を進めてまいりました。

本校の教育目標である「学び合い 育ち合い 自立と社会参加の力を身につける学校」は、仲間との関わりを通して周囲の出来事や人に気づき、正しく行動する力を身につけること。そして、12年間の育ち合いの中で、先輩としての「ほこり」や先輩への「あこがれ」を大切にし、卒業時には、自分自身に誇りを持ち、意欲的に社会参加を目指す生徒へと成長していくことを示しています。



みなみちゃん + 管理職一同

児童生徒一人ひとりが社会の中での役割を学び、誇りをもって自分らしく生きていく そんな未来へ向かって歩んでいけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。引き続き、保護者の皆さま、地域の皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度より「京都府南部視覚・聴覚支援センター」を校内に新設し、盲・聾学校との協働により府内視覚・聴覚障害児への一体的支援体制の構築を推進しています。

### ほこり

### あこがれ



令和7年度に完成した図書室（通称「ほんの森」）を「障害の有無にかかわらず、全ての方が読書を楽しむことができる図書館」として地域に開放し、多くの方にご来校いただきました。初めは「ほんの森で一緒に過ごす」ことから始まった交流が、時間とともに深まり、現在では、生徒が赤ちゃんに絵本の読み聞かせをするといった取り組みへと発展しています。絵本を読むその姿からは、お兄さんお姉さんとしての「誇り」を感じることができます。



読み聞かせ